

オゾン発生ユニットのご案内

FK ファクトケイ株式会社

オゾンは強力な酸化作用を有し、屋外で使用されるゴム製品・プラスチック塗料・繊維等の亀裂やひび割れを発生させる原因の1つとして考えられています。弊社ではガス腐食試験機を利用し、耐オゾン試験が可能です。温度・湿度・オゾンガス濃度をコントロールしながら試験を行うことができます。

オゾン試験の主な規格

規格	試験名・条件
JIS K 6259 (ISO 1431)	加硫ゴム及び熱加塑性ゴム-耐オゾン性の求め方 条件: 温度 $40\pm 2^{\circ}\text{C}$ オゾン濃度 $50\pm 5\text{pphm}$ * 湿度を加える場合もあり
JIS K 6301	加硫ゴム物理試験方法(廃版) ⇒ JIS K 6259に移行 条件: 温度 $40^{\circ}\text{C}\pm 2^{\circ}\text{C}$ オゾン濃度 $50\pm 5\text{pphm}$
JIS D 0205	自動車部品の耐候性試験(WAO 促進耐オゾン試験) * 放置試験のみ対応しております。 条件: 温度 $40^{\circ}\text{C}\pm 2^{\circ}\text{C}$ オゾン濃度 $50\pm 5\text{pphm}$



上記試験規格以外にも対応可能ですので、ご相談下さい。

仕様

名称: オゾン発生ユニット

形式: Ozon150

指示器: オゾン流量・流量調整・出力調整

発生方法: プラズマ共振法式

発生量: 150mg/h(調整可能)

ガス測定: 検知管(オプションで自動制御可能)

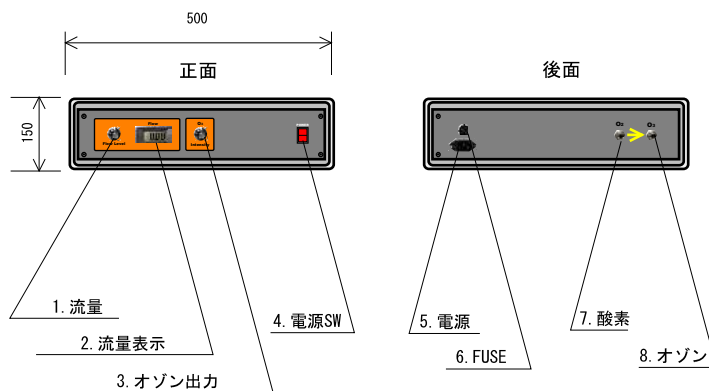
通信: オプション(Wi-Fi/イーサネット警報可能)

電源: 100VAC/50-60Hz 5A

外寸: W500xD500xH150mm (突起物を含みず)

重量: 8Kg(本体)

付属品: 酸素用圧力調整器・オゾン検知管(1箱)



本機は性能向上の為、予期なく仕様変更する場合があります。

お問い合わせ

FK ファクトケイ株式会社 大阪試験センター
〒542-0061 大阪市中央区安堂寺町2-3-16

ホームページアドレス: <http://www.factk.jp/> mail: factkmail@factk.jp

TEL06-4392-7152 FAX 06-6767-1250